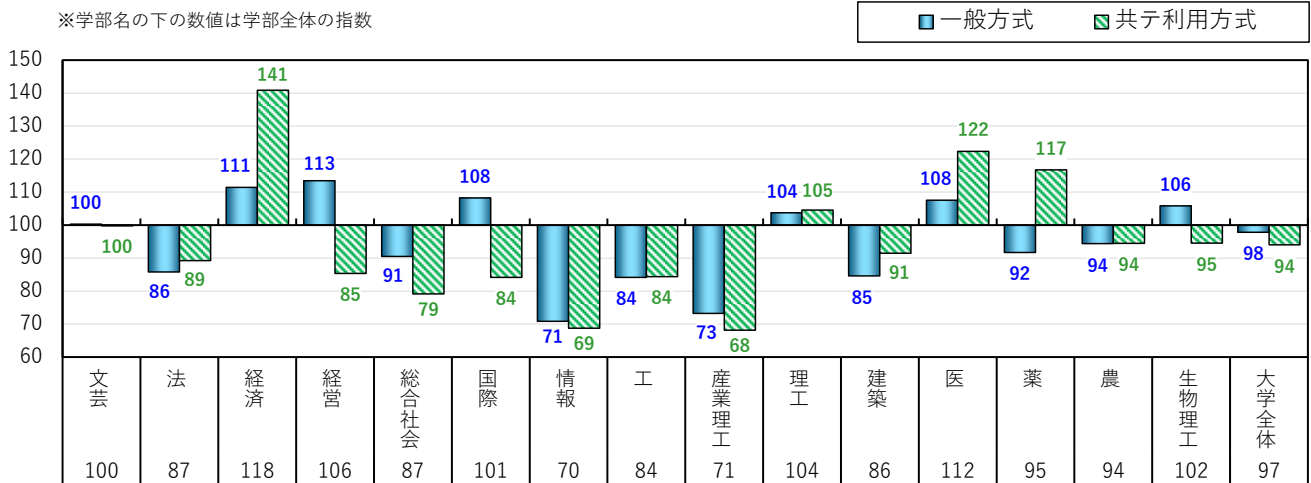


近畿大：大学全体ではやや減少だが、志願者数は 10 年連続全国最多 一般：-2,495 人 共テ：-2,508 人

※前年度の志願者数を100とする指数
 ※学部名の下の数値は学部全体の指数



主な入試変更点

選抜方法：経済…<共テ・前期5教科7科目型>新規実施
 国際…<一般(英語外部試験利用)>対象試験にケンブリッジ英検追加
 対象試験：英検、GTEC、IELTS、TEAP、TOEFL iBT、TOEIC LR+SW
 →対象試験：ケンブリッジ英検、英検、GTEC、IELTS、TEAP、TOEFL iBT、TOEIC LR+SW
 国際(国際/東アジア)…専攻単位で募集→コース別で募集
 理工<共テ・中期>…4科目型から3科目型へ
 国+数+理+外 ※数：数①or数②→(国 or 数①or数②or理 or 外)→3
 生物理工…<一般・前期B日程(生物理工学部独自方式)>新規実施
 入試科目：工<共テ・中期>…(国 or 歴 or 数①or数②or理 or 外)<100>→4=総点<400>
 →理<200>+(数①or数②)<200>+(国 or 歴 or 外)<100>→2=総点<600>
 工(化学生命工)<一般・前期>…数+理+外→理+外+(国 or 数)

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、5,003 人(97)のやや減少だが、志願者数は 152,191 人で 10 年連続全国最多。文理別では、文系 6 学部合計(102)は微増で 2 年連続増加。前年度、情報の新設で大幅増加した理系 9 学部合計(91)は減少。方式別では、一般方式 2,507 人(98)は微減だが、志願者数は 2 年連続 10 万人を超えた。共通テスト利用方式 2,508 人(94)はやや減少で、志願者数は 4 万人をわずかに下回った。

- <一般方式>
- 文芸(100)**は、4 年連続減少の反動はなく前年度並で、志願者数は 3 年連続 7,000 人台。学科・専攻別では、(芸術/舞台芸術)(127)、(芸術/造形芸術)(122)はいずれも 3 年ぶりの大幅増加、(文/英語英米文学)(121)も大幅増加で前年度の反動による増減が継続。一方で、(文/日本文学)(94)はやや減少で 5 年連続減少。
 - 法(86)**は、前年度大幅増加の反動で減少。方式別では、<前期 B 日程>(82)、<前期 A 日程>(85)はいずれも前年度大幅増加の反動で大幅減少、<後期>(100)は前年度並。
 - 経済(111)**は、系統への高い人気もあって、前年度大幅増加に引き続き増加。志願者数は 6 年ぶりに 14,000 人を超えた。学科別では、(国際経済)(153)は 2 年連続大幅増加、(総合経済政策)(117)も大幅増加で 3 年連続増加。一方で、(経済)(96)はやや減少。
 - 経営(113)**は、系統への高い人気もあって、2 年連続増加。志願者数は 3 年ぶりに 20,000 人を超えた。学科別では、(キャリア・マネジメント)(125)、(会計)(121)は大幅増加、(商)(114)は増加、(経営)(104)はやや増加でいずれも 2 年連続増加。
 - 総合社会(91)**は、2 年連続増加の反動で減少。学科・専攻別では、(総合社会/社会・マスメディア系)(87)、(総合社会/環境・まちづくり系)(90)は減少で、いずれも 2 年連続増加の反動、(総合社会/心理系)(97)はやや減少で 4 年連続減少。
 - 国際(108)**は、コロナ禍の影響を強く受け系統への人気が高い系統だが、5 年連続減少の反動で増加。学科・専攻別では、(国際/グローバル)(115)は、大幅増加。募集区分が専攻単位からコース単位での募集に変更となった(国際/東アジア-中国語)と(国際/東アジア-韓国語)の合計と旧(国際/東アジア)との比較では、(87)の減少で 3 年連続減少。
 - 新設 2 年目の**情報(71)**は、前年度の志願倍率 67.8 倍の高倍率を敬遠されて大幅減少。志願倍率は 48.0 倍へ大幅ダウン。方式別では、いずれも減少。特に、<後期独自>(57)、<後期>(58)はいずれも 40%以上の大幅減少。
 - 工(84)**は、広島キャンパス設置だが、前年度増加の反動で大幅減少。学科別では、6 学科中入試科目変更があった(化学生命工)(101)のみ微増で 2 年連続増加。これを除く 5 学科は、いずれも前年度増加の反動で減少、特に、(情報)(73)の大幅減少が目立った。
 - 産業理工(73)**は、福岡キャンパス設置だが、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、5 学科全てが大幅減少。特に、(電気電子工)(59)、(生物環境化)(61)は 40%前後の大幅減少。
 - 理工(104)**は、やや増加。学科・コース別では、9 学科・コース中 5 学科・コースが増加。特に、改組 2 年目の(エネルギー物質)(155)は周知も進み 50%以上の大幅増加で目立った。
 - 建築(85)**は、前年度増加の反動で大幅減少。志願者数は 5,000 人を下回った。方式別では、<前期 B 日程>(83)、<前期 A 日

程>(85)は前年度増加の反動で大幅減少、<後期>(91)は前年度大幅減少に引き続き減少。

- 医(108)**は、前年度減少の反動で増加。方式別では、<前期A日程>(100)は前年度並、<後期>(128)は大幅増加。
- 薬(92)**は、前年度大幅増加の反動で減少。過去6年間で5回減少。学科別では、4年制の(創薬科学)(90)、6年制の(医療薬)(92)のいずれも減少。方式別では、<後期>(107)はやや増加で2年連続増加だが、その他の方式はいずれも減少。
- 農(94)**は、前年度増加の反動でやや減少。学科別では、6学科中で(水産)(110)のみ増加、その他の5学科はいずれも減少で前年度と逆の増減。
- 生物理工(106)**は、2年連続やや増加だが、志願者数は3年連続3,000人を下回った。学科別では、(医用工)(128)、(人間環境デザイン工)(119)、(食品安全工)(117)、(遺伝子工)(115)は大幅増加。一方で、(生物工)(78)は大幅減少。

<共通テスト利用方式>

- 文芸(100)**は、4人の微減だが2年連続減少。志願者数は2年連続2,000人を下回った。学科・専攻別では、(文/英語英米文学)(149)は前年度40%以上の大幅減少の反動で大幅増加。(芸術/舞台芸術)(114)は2年連続減少の反動で増加。一方で、(芸術/造形芸術)(74)は2年連続増加の反動で大幅減少、(文/日本文学)(85)は2年連続大幅減少。
- 法(89)**は、3年ぶりに減少。方式別では、共通テストの平均点アップの影響で<共テ併用・後期>(117)は大幅増加。<共テ・後期>(110)も増加で2年連続増加。一方で、<共テ・前期>(81)、<共テ・中期>(83)は大幅減少。
- 経済(141)**は、系統への高い人気もあって、大幅増加で3年連続増加、志願者数は5,000人を超えた。新規実施の<共テ・前期5教科7科目型>を除いても(125)の大幅増加。学科別では、3学科全て大幅増加で、特に、(国際経済)(196)は4年連続減少の反動でほぼ倍増。方式別では、共通テストの平均点アップの影響で<共テ・後期>(269)、<共テ併用・後期>(262)はいずれも倍増以上。
- 経営(85)**は、2年連続大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、4学科全てで減少。(商)(83)は前年度激増の反動で大幅減少、(経営)(85)は2年連続大幅増加の反動で大幅減少。
- 総合社会(79)**は、2年連続大幅増加の反動で大幅減少。学科・専攻別では、(総合社会/社会・マスメディア系)(73)、(総合社会/心理系)(80)は大幅減少、(総合社会/環境・まちづくり系)(88)は減少で、いずれも2年連続増加の反動。
- 国際(84)**は、コロナ禍の影響を強く受け系統への人気は低い系統であることに加えて、前年度増加の反動で大幅減少。学科・専攻別では、募集区分が専攻単位からコース単位での募集に変更となった(国際/東アジア-中国語)、(国際/東アジア-韓国語)の合計と旧(国際/東アジア)との比較では(58)の大幅減少、(国際/グローバル)(91)は減少。
- 新設2年目の**情報(69)**は、前年度の志願倍率59.3倍の高倍率を敬遠されて大幅減少。志願倍率は40.8倍へ大幅ダウン。方式別では、全ての方式で減少、特に、<共テ・後期>(44)、<共テ・中期>(47)は半減以下。
- 工(84)**は、5年連続増加の反動で大幅減少。学科別では、(化学生命工)(100)の1人の微減を含めて、全ての学科で減少。特に、(情報)(76)、(電子情報工)(76)の大幅減少が目立った。
- 産業理工(68)**は、大幅減少で2019年度以降前年度の反動による増減が継続。学科別では、全ての学科で大幅減少、特に、(生物環境化)(48)は半減以下。
- 理工(105)**は、前年度大幅減少の反動は小さくやや増加。過去7年間で6回増加。学科・コース別では、9学科・コース中7学科・コースが増加で、特に(エネルギー物質)(148)は50%近い大幅増加。方式別では、<共テ・中期>(148)は必須4科目型から選択3科目型へ変更という受験生の負担軽減と共通テストの平均点アップが影響して大幅増加。
- 建築(91)**は、減少で2年連続減少。方式別では、<共テ併用・A日程>(101)は微増だが、その他の方式はいずれも減少。特に、<共テ・中期>(66)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、<共テ・後期>(85)は2年連続大幅減少。
- 医(122)**は、大幅増加で2年連続増加、志願者数は3年ぶりに900人を上回った。方式別では、<後期>(152)、<前期>(124)は大幅増加、<中期>(106)はやや増加。
- 薬(117)**は、大幅増加。学科別では、6年制の(医療薬)(128)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、4年制の(創薬科学)(94)はやや減少で2年連続減少。
- 農(94)**は、2年連続増加の反動は小さくやや減少。学科別では、(水産)(113)は増加で前年度の反動による増減が継続。その他の5学科はいずれも減少で、特に(環境管理)(77)、(生物機能科学)(84)は大幅減少。
- 生物理工(95)**は、やや減少。志願者数は3年ぶりに1,500人を下回った。学科別では、(医用工)(137)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(生物工)(76)は2年連続増加の反動で大幅減少。